

実技検査科目 [A1 論述]

問題.

別紙の要点を200字程度にまとめた上で、「アートとは何か」について、あなたの考えを述べなさい。
(全体で800字以内)

[別紙出典]

小松田儀貞編著『アートはいつ〈アート〉になるのか—〈アート化〉とは何か』水曜社 2025年
2・5ページから抜粋し、注番号を削除。

時間. 10:00~12:00

別紙

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

実技検査科目 [A2 鉛筆デッサン]

問 題.

与えられたモチーフ（麻ロープ・太さ約10mm・長さ約40cm）を持った手を、与えられた用紙（M画用紙ボード・B4判）に鉛筆で描きなさい。

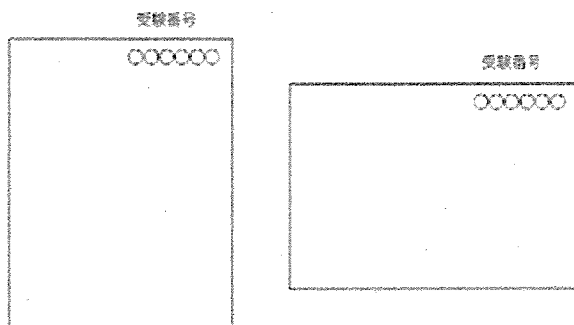
[条件]

- ・ 用紙の縦位置（長辺が縦）、横位置（長辺が横）は自由に選択して良い。

時 間. 10:00~12:00

A2 鉛筆デッサン 注意事項

- ・ スマートフォン・携帯電話等の電子機器類は、電源を切り、カバンの中へしまいなさい。
- ・ 時計のアラームは必ず切ること。時計（腕時計等）は机上に置いてよい。
- ・ 持参した受験票と机上の「QRコード付きの受験番号シール」に記載されている受験番号が同じであることを確認しなさい。
- ・ QRコードシールの貼付は、監督員の指示に従うこと。コピー用紙（B4、白色）2枚は下書き用紙である。配付物には指示があるまで手を触れないこと。
- ・ 募集要項に指定された携行品以外は使用を認めない。使用できる携行品は『鉛筆、消しゴム、練り消しゴム、カッターナイフ（鉛筆削りも可）』である。任意で使用できる携行品は『デスクール、はかり棒、サンドペーパー、擦筆、ティッシュペーパー、ガーゼ』である。
- ・ 携行品以外の物品は使用できない。また、物品の貸し出しも行わない。
- ・ 配付された用紙以外の紙は使用できない。下書きには配付されたコピー用紙のみを使用すること。また、配付したコピー用紙は、折ってごみ入れに使用してもよい。
- ・ トイレや体調が悪くなった場合などは、手を挙げて指示に従いなさい。また、試験開始直前及び開始直後はトイレに行かないこと。
- ・ 試験開始後に水分補給が必要な場合は、手を挙げて指示に従いなさい。
- ・ 立ち上がってデッサンを確認することは認めない。また、大きな音を出すなど、周りの受験生に迷惑をかけること。
- ・ 試験開始後から終了までの間に、解答面の右上に受験番号を必ず記入しなさい。



- ・ 試験終了の合図の後に、解答用紙に絶対に手を加えないこと。
- ・ 問題用紙、下書き用紙、モチーフは持ち帰らないこと。